

1. 教育目標

自己免疫・自己炎症性疾患の病因、病態を理解し、治療薬の開発について学ぶ。特に、遺伝子治療と再生医療について学ぶ。アレルギー疾患の発症機序と治療法について詳細に理解する。シェーグレン症候群の唾液腺の病理を理解し、治療法を学ぶ。全身性硬化症の皮膚・消化器・肺・心病変の機能評価の解析ができる。関節リウマチの生物学的製剤の臨床疫学についての解析を学ぶ。

2. 到達目標

- (1) 遺伝子治療と再生医療による自己免疫疾患の治療の知見を得る。
- (2) アレルギー疾患の病因、病態、治療を修得する。
- (3) シェーグレン症候群の病因、病態、治療を理解する。
- (4) 全身性硬化症の皮膚硬化機序の解析ができる。
- (5) 関節リウマチの生物学的製剤の有効性、副作用に関する疫学調査の知見を得る。
- (6) 血管炎の病因、病態、治療を理解する。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究カンファレンスでの発表・データの確認(40%)、学会・研究会での発表(60%)

4. 教科書・参考書

特に定めていない。 必要に応じて参考資料を配付する。

5. 準備学習

テーマ毎に文献検索を行い、知識を整理して授業・実習に臨むこと。(最低2時間) 日々学習することにより、復習として0.5～1時間程度かけて講義内容・実習内容をまとめておくこと。

6. 備考

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【臨床免疫学】

曜日	時間	期間	単位	授業区分	項目	内容	担当者	場所
月	16:45 ～ 18:00	通年	4	演習	内 科 学 セ ミ ナ ー	症例検討・関連論文抄読会	東臨床准教授	2-4 カ ンファ レンス ルーム
火	13:00 ～ 15:30	通年	4	実験 実習	臨 床 免 疫 学 総 論	自己免疫・自己炎症性疾患の 発症機序の解析	橋本講師	12F 研 究室
水	16:45 ～ 18:00	通年	4	講義	リ ウ マ チ ・ 膠 原 病 総 論	リウマチ・膠原病の診断と治療	古川助教	2-4 カ ンファ レンス ルーム
木	15:30 ～ 18:00	通年	4	実験 実習	リ ウ マ チ ・ アレルギー学総論	免疫組織化学及び 分子生物学実習	松井教授 東臨床准教授 森本助教	12F 研 究室
金	15:30 ～ 18:00	通年	4	実験 実習	免 疫 応 答 の 分 子 機 構	滑膜細胞の分化増殖及びアポ トーシスの分子機構	古川助教 森本助教	共同研

(第1学年・夜間開講)

月	18:00 ～ 19:15	通年	4	演習	内 科 学 セ ミ ナ ー	症例検討 関連論文抄読会	松井教授 森本助教	2-4 カン ファレン スルーム
火	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験 実習	臨 床 免 疫 学 総 論	リウマチ・膠原病・アレルギー の発症機序の解析	松井教授 橋本講師	12F 研 究室
水	18:00 ～ 19:15	通年	4	講義	リ ウ マ チ ・ 膠 原 病 総 論	リウマチ・膠原病の診断と治療	東臨床准教授 森本助教	2-4 カン ファレン スルーム
木	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験 実習	リ ウ マ チ ・ アレルギー学総論	免疫組織化学および分子生物 学実習	東臨床准教授 古川助教	12F 研 究室
金	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験 実習	免疫応答の分子 機構	滑膜組織化学およびアポトー シスの分子機構	古川助教 森本助教	共同研

(第2学年・昼間開講)

火	16:45 ～ 18:00	通年	4	講義	臨 床 免 疫 学 総 論	自己免疫疾患の病態	松井教授 橋本講師	12F 研 究室
水	15:00 ～ 17:30	通年	4	実験 実習	リ ウ マ チ ・ アレルギー学総論	免疫組織化学および 分子生物学実習	森本助教 古川助教	12F 研 究室
金	16:00 ～ 17:15	通年	4	演習	リ ウ マ チ 学 セ ミ ナ ー	症例検討 関連論文抄読	松井教授 橋本講師	12F 研 究室

(第2学年・夜間開講)

火	18:00 ～ 19:15	通年	4	演習	内 科 学 セ ミ ナ ー	症例検討 関連論文抄読	森本助教 古川助教	12F 研 究室
木	18:00 ～ 20:30	通年	4	実験 演習	自 己 免 疫 学 自 己 炎 症 学 総 論	免疫組織化学および分子生物 学的実習	東臨床准教授 森本助教	12F 研 究室
金	18:00 ～ 19:15	通年	4	講義	臨 床 免 疫 学 総 論	自己免疫・自己炎症疾患の病態	松井教授 橋本講師	2-4 カン ファレン スルーム